

# 西国三十三霊場巡りマラニック

## 三十番 巖金山 宝蔵寺

十九年十月九日

フル百回楽走会

593

武藤 翔峰

三十三カ所の中で唯一船を利用しなければならないのが、琵琶湖の北に位置する周囲約2kmの島、竹生島にある宝蔵寺である。宗派は真言宗豊山派、本尊は、大弁才天像。観音堂の本尊は千手千眼観世音菩薩、開基は行基菩薩。神亀元年(724年)に聖武天皇の勅願により、行基が竹生島に来島し弁才天像を造り小堂に安置したのがこの寺の創始と伝えられている。船着き場から見た宝蔵寺の各堂宇は山腹に密着するような形で建てられており、数軒ある土産物屋の前を通り抜け、拝観受付を通ると眼前に急勾配の石段がある。この石段は「本堂」前の広場まで165段ある。石段を上った広場左手に「本堂(弁才天堂)」が建てられている。現存の藤原様式の「本堂」は昭和17年(1942年)に建てられた。更に石段を登った狭い場所に、朱塗りも鮮やかな「三重塔」と、それに「宝物殿」が建てられている。今回の西国三十三霊場マラニックはここで終了となった。

